

毎週木曜日発行 購読料3か月 12,500円(送料・税込み)
昭和62年11月14日第三種郵便物認可 ©物流産業新聞社 2023

編集部 TEL 03-6304-0790
東京本社 TEL 03-6278-8292
大阪本社 TEL 06-6608-0501
全国13拠点をネットワーク

定期購読のお申し込み・お問い合わせは
0120-76-0501
24時間 0120-79-0508
FAX 承ります

(9) 2023年(令和5年)2月2日(木曜日)

(第三種郵便物認可)

物流会社も手軽にSDGsを ゴール達成を荷主に積極PR

同社が運営する「古着deワクチン」について同社担当者は、「ご不要になった衣類や服飾雑貨を手放すことで、世界の子どもたちにポリオワクチンを寄付できる仕組み」と説明する。

流れとしては、PCやスマホ、電話で申し込むと、同社から専用回収キット(3300円、税込)が到着。同キットに入っている衣類回収袋にはTシャツ約100枚(約30*0.2²)を入れることが可能で、不要な衣類を片づけることができる。夏服・冬服、メンズ・レディース、子ども服、ベビー服、マニティなど分別の必要がなく、まとめて袋に入れられることでも人気だ。

同社へ送付された衣類は、カンボジアをはじめとする開発途上国を中心に輸出・再利用(リユース)され、現地の雇用やビジネス創出にも寄与している。出産や子どもの成長、引っ越し、衣替え、大掃除などのタイミングで「もう着ないけど、捨てるには忍びない服」が、同取り組みにより有効活用される。

さらに、同取り組みを利用して、「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」を通じて、ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの子どもたちにポリオワクチンが届けられ、一口につき5人の命が救われる。

また、専用回収キットは日本全国の福祉作業所で製造。障がいがある人の自立支援にも寄与している。まさに、「部屋が片つき、社会貢献もできる取り組み」となっている。同社は2010年11月から同取り組みを開始し、これまでに累計80万人以上が利用。2022年12月31日時点で、467万367人分のワクチンを寄付し、3939万5050着分の衣類を再利用したという(関連事業含む実績)。

なお、日本のポリオ予防接種では注射による「不活化ワクチン」が使用されているが、同取り組みではあえて「生ワクチン」を寄付。「口から飲む生ワクチンなら、より簡易に多くの子どもに飲ませてあげられる」という配慮によるものだという。コスト面や保管方法等も利点が多く、世界の子どもを感染症から守るために最善の方法が選ばれている。



古着deワクチン まごころプロジェクト

日本リユース活動の一環として、同社では「古着deワクチン」を2022年10月1日より開始。不要になった衣類を回収し、カンボジアをはじめとする開発途上国を中心に輸出・再利用(リユース)され、現地の雇用やビジネス創出にも寄与している。出産や子どもの成長、引っ越し、衣替え、大掃除などのタイミングで「もう着ないけど、捨てるには忍びない服」が、同取り組みにより有効活用される。

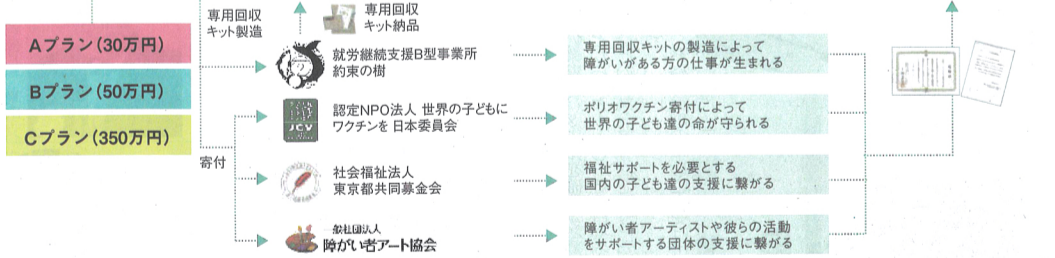
さらに、同取り組みを利用して、「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」を通じて、ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの子どもたちにポリオワクチンが届けられ、一口につき5人の命が救われる。

また、専用回収キットは日本全国の福祉作業所で製造。障がいがある人の自立支援にも寄与している。まさに、「部屋が片つき、社会貢献もできる取り組み」となっている。同社は2010年11月から同取り組みを開始し、これまでに累計80万人以上が利用。2022年12月31日時点で、467万367人分のワクチンを寄付し、3939万5050着分の衣類を再利用したという(関連事業含む実績)。

なお、日本のポリオ予防接種では注射による「不活化ワクチン」が使用されているが、同取り組みではあえて「生ワクチン」を寄付。「口から飲む生ワクチンなら、より簡易に多くの子どもに飲ませてあげられる」という配慮によるものだという。コスト面や保管方法等も利点が多く、世界の子どもを感染症から守るために最善の方法が選ばれている。

同取り組みの導入は、同社からプロジェクトの提議する「専用回収キット」を福利厚生に貢献できるだけで、衣類回収袋を職場に配置して持ち寄り、不要になった衣類を回収し、集まった衣類を福利厚生費で回収し、カンボジアをはじめとする世界中で再利用される。同取り組みを利用した企業団体には「古着deワクチン」SDGsサポート認定書にサイン・スタンプをいただき、連携先各所からの感謝状・お礼状、広報用の写真素材も提供される。また、同取り組みのSDGsサポート企業一覧ページに企業名が掲載される。これにより、SDGs活動を推進する企業であることを、荷主やパートナー企業にアピールできる。また、SDGsに関する従業員の意識向上を促進することも可能となる。

【古着deワクチン まごころプロジェクト ご利用の流れ】



社会福祉団体 コメント

障がい者アート協会の熊本豊代表理事「2015年の設立以来、障がい者の生み出すアートの活用を通じて、社会とつながる活動が、企業や団体の取組に活用される。企業が主役となるこのまごころプロジェクトは、この支援の取り組みをより大きな仕組みに導くことができると期待している。」

JCV代表理事「啓発・教育グループの高橋豊裕グループ長「SDGsの9つのゴール達成に貢献でき、分別やすきと利用しやすさを兼ね備えたこのパッケージが、企業や団体の皆様のSDGs活動への参加を後押しし、期待している。」

東京都共同募金の近江信子事務局次長「このプロジェクトを通じて、参加した企業や団体の「想い」を福祉の現場に届けてほしい。」

就労継続支援B型事業所「約束の樹」の田中健一郎代表「日本リユースシステムや他の連携団体とともにより多くの方々に想いを込めた支援をすすめる。」

導入企業

トヨタ自動車、ヤマト運輸、J A、明治ホールディングス、第一生命保険、オリンパス、東京海上日動火災保険、三井不動産、三菱UFJ信託銀行、信金中央金庫、商工組合中央金庫、北日本銀行、陸上自衛隊、在大阪カンボディア王国名誉領事館、環境再生保全機構、東京大学、東北大学、慶應義塾大学、東京医科大学病院ほか

メリット

業所からのお礼状が提供される。

①Aプラン(30万円) ②Bプラン(50万円) ③Cプラン(350万円)

専用回収キット納品
就労継続支援B型事業所 約束の樹
認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会
社会福祉法人 東京都共同募金会
障がい者アート協会

専用回収キットの製造によって障がいがある方の仕事ができる
ポリオワクチン寄付によって世界の子ども達の命が守られる
福祉サポートを必要とする国内の子ども達の支援に繋がる
障がい者アーティストや彼らの活動をサポートする団体の支援に繋がる

古着deワクチン まごころプロジェクトを利用するメリット

「古着de ワクチン」SDGs サポート企業の一覧ページが発表されます。

「古着de ワクチン」SDGs サポート企業の一覧ページが発表されます。

「古着de ワクチン」を通してSDGs 活動を推進する企業であることを荷主、社員やその家族、求職者にアピールできます。

「古着de ワクチン」を通じた社内SDGs 活動により、SDGs に関する従業員の意識向上と理解促進につながります。

NIHON REUSE SYSTEM
お問い合わせ先
日本リユースシステム株式会社
お問い合わせ電話番号: 0120-206-225
https://furuhidevaccine.etsl.jp/btob/

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS